

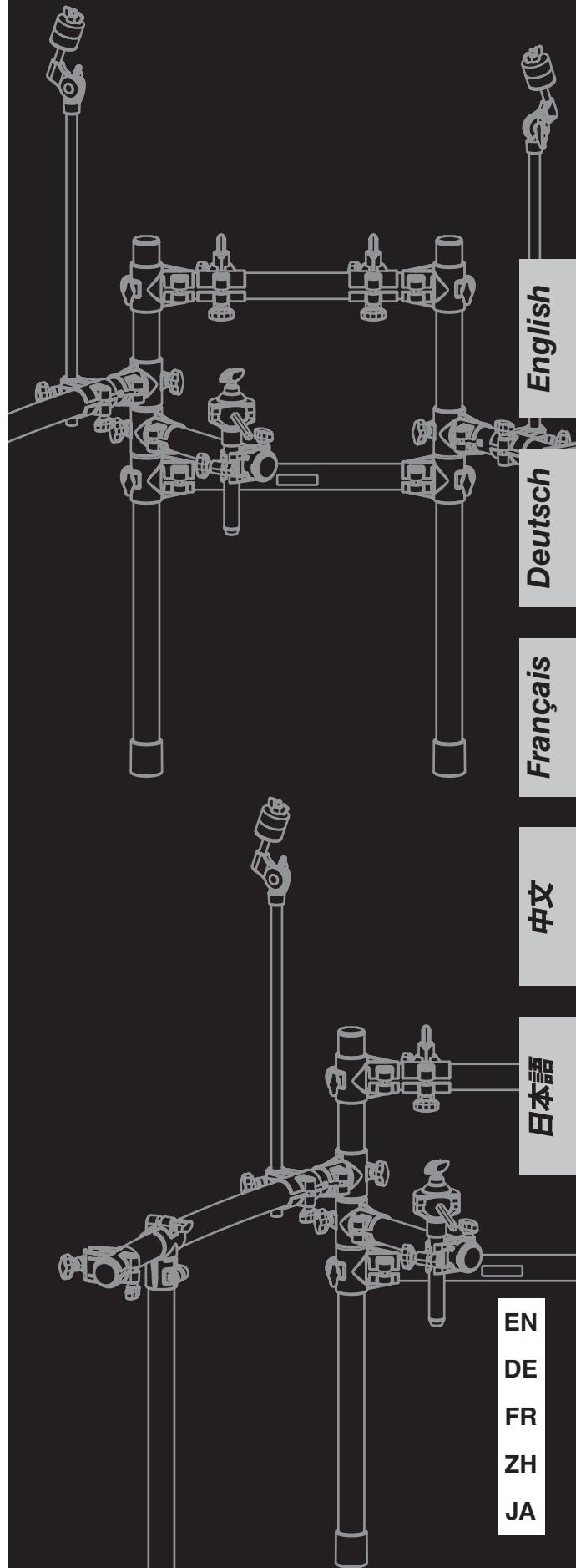


**DTX**  
Drums

ELECTRONIC DRUM RACK  
RACK DE BATTERIE ÉLECTRONIQUE  
电鼓支架  
電子ドラムラック

**RS502**

**Owner's Manual**  
**Bedienungsanleitung**  
**Mode d'emploi**  
**使用说明书**  
**取扱説明書**



English

Deutsch

Français

中文

日本語

EN  
DE  
FR  
ZH  
JA

## 安全上のご注意 ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

※ お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



「ご注意ください」という注意喚起を示します。



～しないでくださいという「禁止」を示します。



「必ず実行」してくださいという強制を示します。



### 警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



けがをするおそれがあるので、小さいお子様が取り扱いされる際は保護者が付き添ってください。



シンバルホルダーやタムホルダーの先端部分はとがっています。けがの原因になりますので、取り扱いにはじゅうぶん注意してください。



この製品を設置される際、固定用のナット等はしっかり締め付けてください。また、固定用ナット類をゆるめる際は急激にゆるめないでください。パッドが落下したり、ラック、パイプ、スタンドの部品の落下、転倒などにより、けがの原因となります。



この製品を、不安定な場所(水平でない場所、ぐらついている台の上など)に設置しないでください。転倒、落下などにより、けがの原因となります。



この製品を分解したり、改造したりしないでください。けがまたは故障の原因になります。



ラックに腰かけたり踏み台にしないでください。転倒したり壊れたりして、けがの原因となります。



### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、財産が損害を受ける危険のおそれがある内容を示しています。



クランプを調節する際、指に注意してください。指が挟まれてけがをするおそれがあります。



パイプの端面や内面及びネジの先端にご注意ください。尖った部分等で指にけがをするおそれがあります。



電子ドラムラックには、アコースティックドラムを取り付けないでください。クランプの破損や、ドラムの落下などで、けがをするおそれがあります。

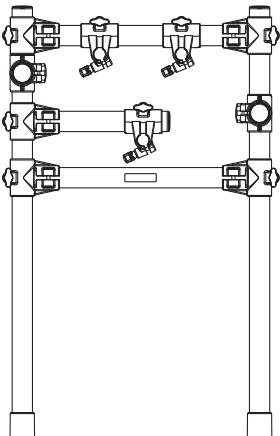
### 注記（ご使用上の注意）

- この製品の上に乗ったり、重いものを乗せたりしないでください。故障の原因になります。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、閉めきった車内など)や、湿気の多い場所(風呂場、雨天の屋外など)での使用、保管はしないでください。変形、変色、故障や性能劣化の原因になります。
- 製品を手入れするときは、ベンジンやシンナー、アルコール類は使用しないでください。製品を変色、変形させるおそれがあります。お手入れの際は、やわらかい布で乾拭きするか、水を含ませて固く絞った布を用いて汚れをふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を含ませた布を固く絞って汚れを拭き取り、その後で水を含ませて固く絞った布を用いて洗剤を拭き取ってください。

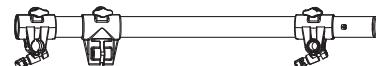
## 同梱品について

梱包箱を開けたら、すべての部品がそろっていることを確認してください。

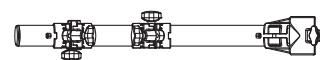
本体×1



左パイプ×1



右パイプ×1



左脚×1



右脚×1



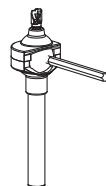
タムホルダー×3



シンバルホルダー×2

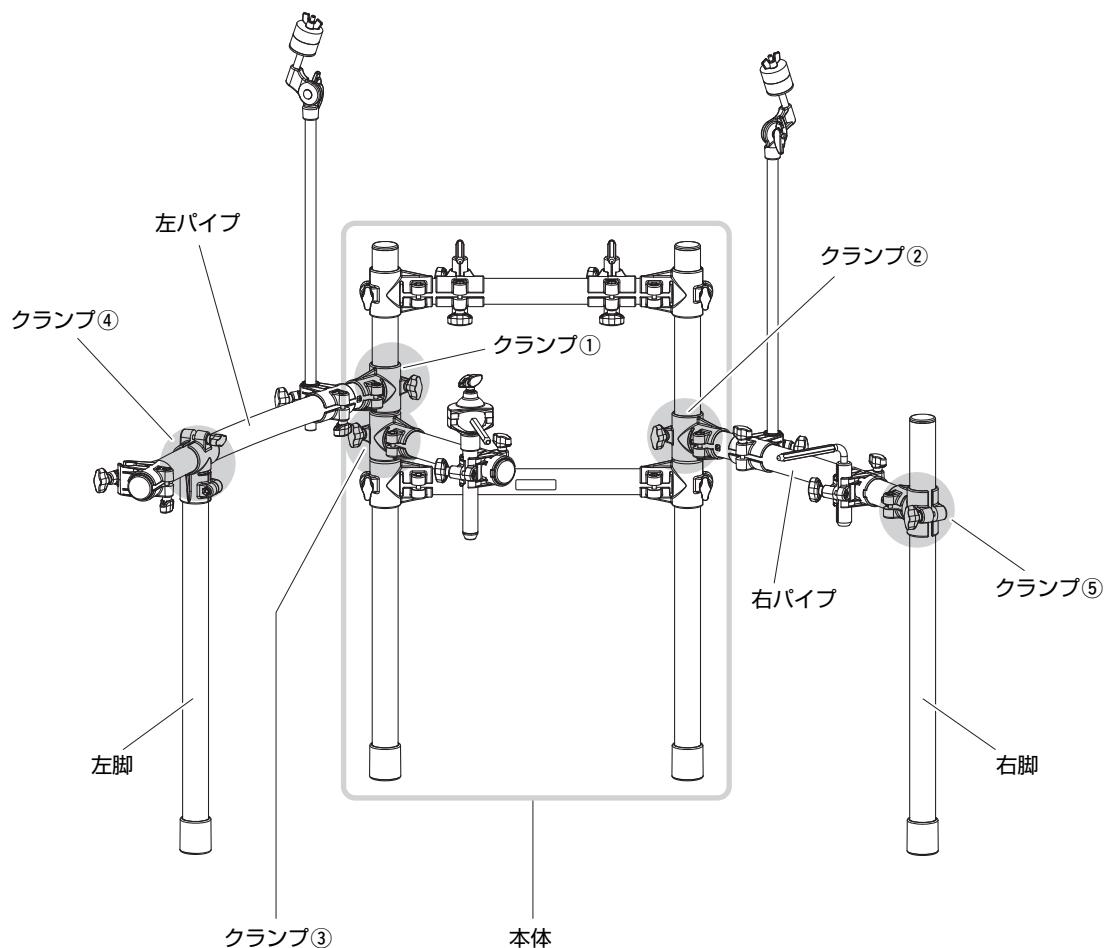


スネアクランプロッド×1



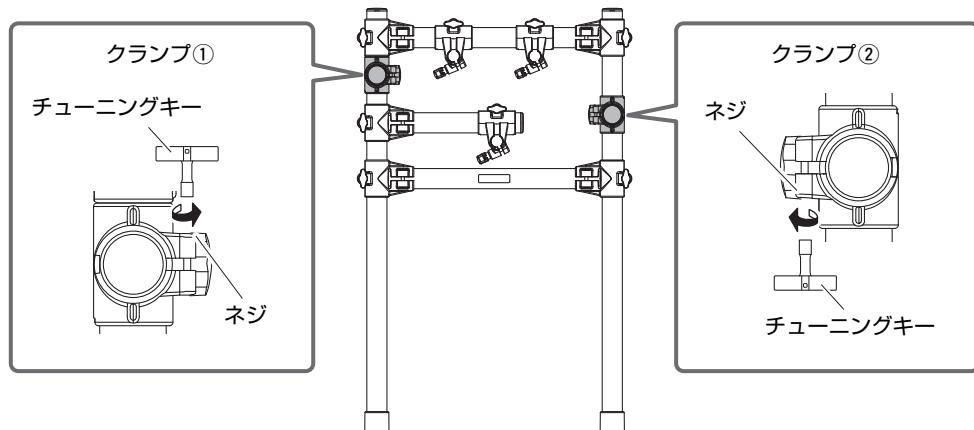
取扱説明書(本書)

## ■完成イメージ



## ラックの組み立て

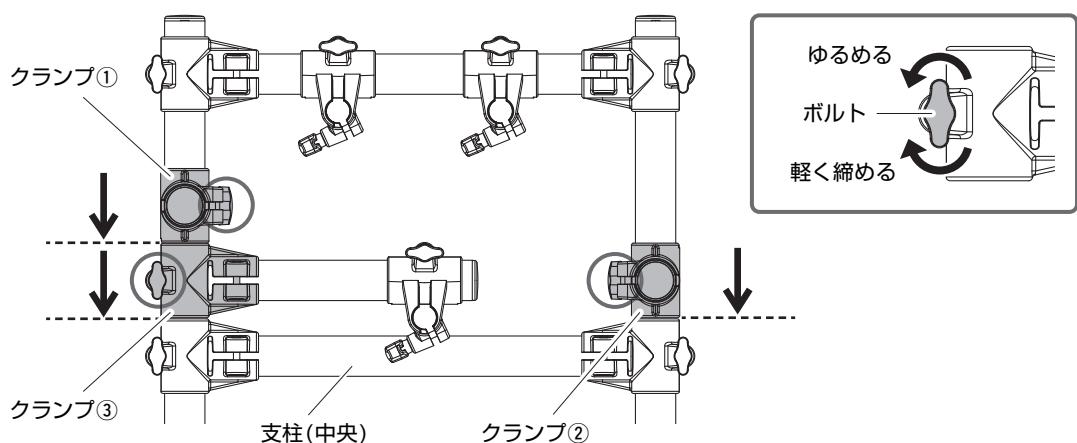
- 硬くて平らな床に本体を寝かせ、クランプ①、②のネジをチューニングキーでゆるめます。



### NOTE

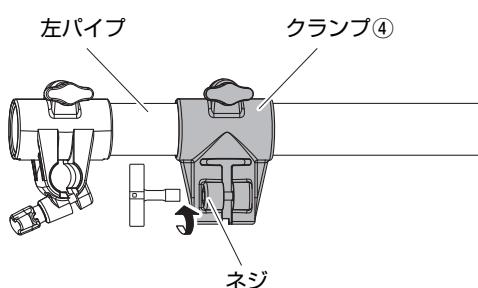
チューニングキーは、パッドセットの梱包箱に入っています。

- クランプ①、②、③のボルトをゆるめ、支柱(中央)に突き当たるまでクランプ①、②、③を押し下げます。押し下げた後は、ゆるめたボルトを軽く締めておきます。

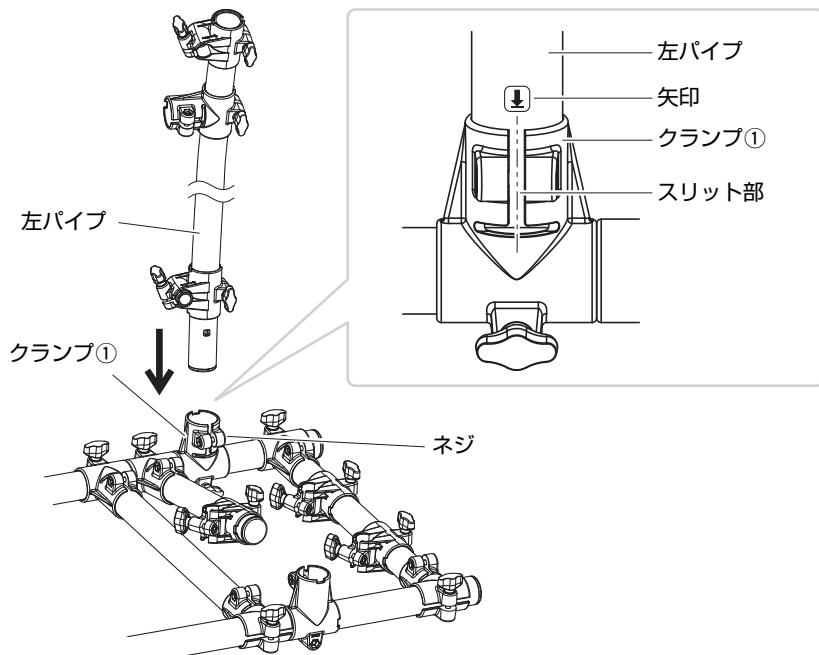


- 左パイプを用意し、クランプ④のネジをチューニングキーでゆるめます。

左パイプと右パイプはよく似ています。長いほうが左パイプです。間違えないように取り付けてください。



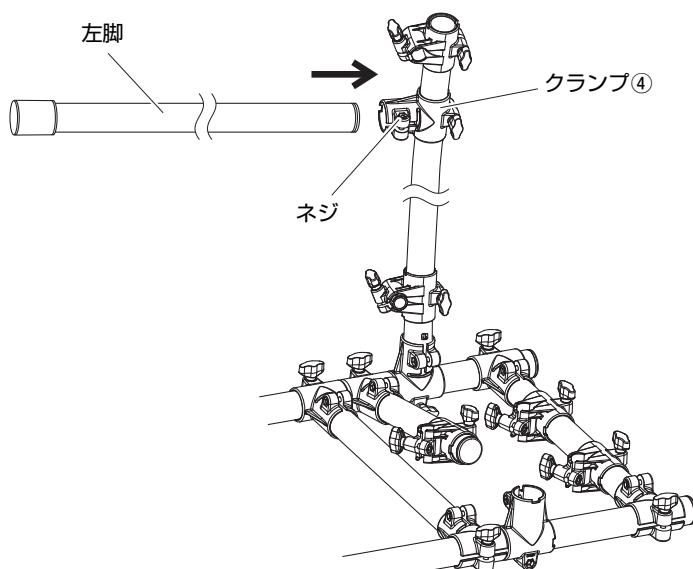
- 4.** 左パイプを本体のクランプ①に根元まで差し込みます。  
差し込む向きは、左パイプに書かれた目印として貼られている矢印(↓)のシールと、クランプ①のスリット部とが一致するようにします。



- 5.** クランプ①のネジをチューニングキーでしっかりと締めます。

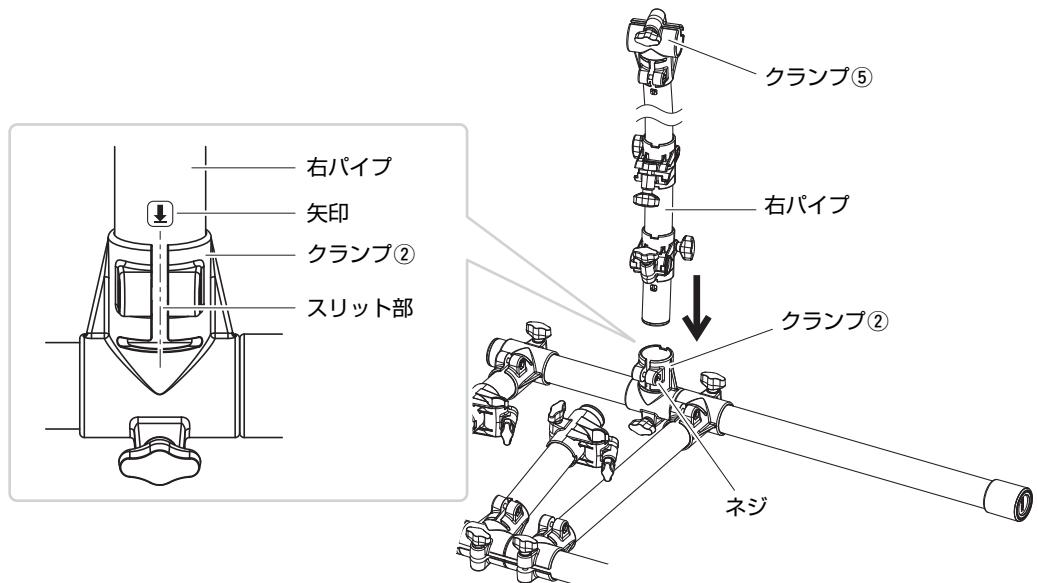
- 6.** 左脚を用意し、クランプ④の根元まで差し込みます。

左脚と右脚はよく似ています。短いほうが左脚です。間違えないように取り付けてください。



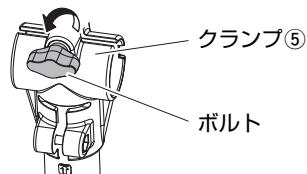
- 7.** クランプ④のネジをチューニングキーでしっかりと締めます。

- 8.** 右パイプを用意し、クランプ②の根元まで差し込みます。  
差し込む向きは、右パイプに書かれた目印として貼られている矢印(↓)のシールと、クランプ②のスリット部とが一致するようにします。



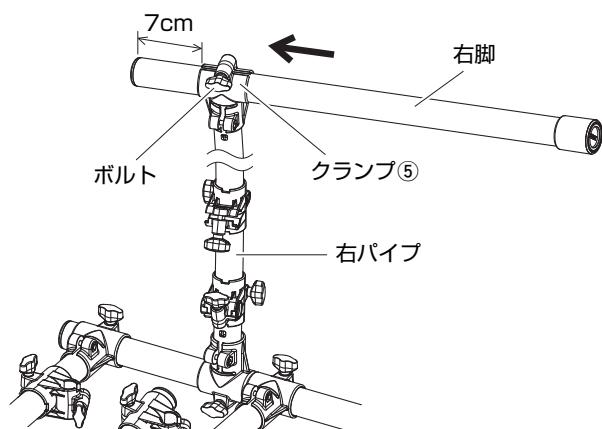
**9.** クランプ②のネジをチューニングキーでしっかりと締めます。

**10.** クランプ⑤のボルトをゆるめます。



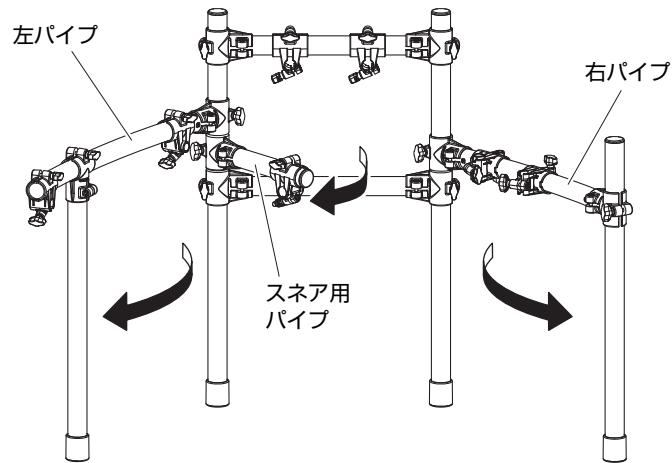
**11.** 右脚を用意し、クランプ⑤に差し込みます。

差し込む深さは、右脚の先端部がクランプから7cmほど見える程度です。



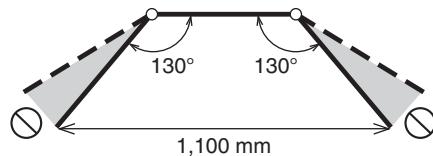
**12.** クランプ⑤のボルトをしっかりと締めます。

- 13.** 本体を立て、左パイプ、右パイプ、スネア用パイプを開きます。

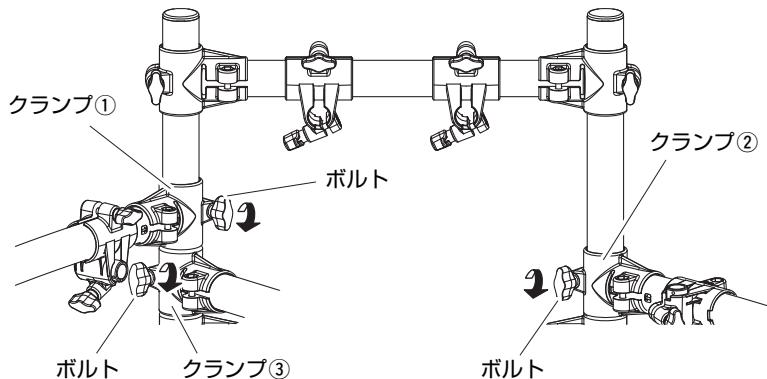


**△ 注意**

ラックの左右の脚を下図の角度/寸法よりも広げないでください。左右の脚が広がりすぎると、ラックが転倒してけがの原因となります。



- 14.** クランプ①、②、③のボルトをしっかりと締めます。

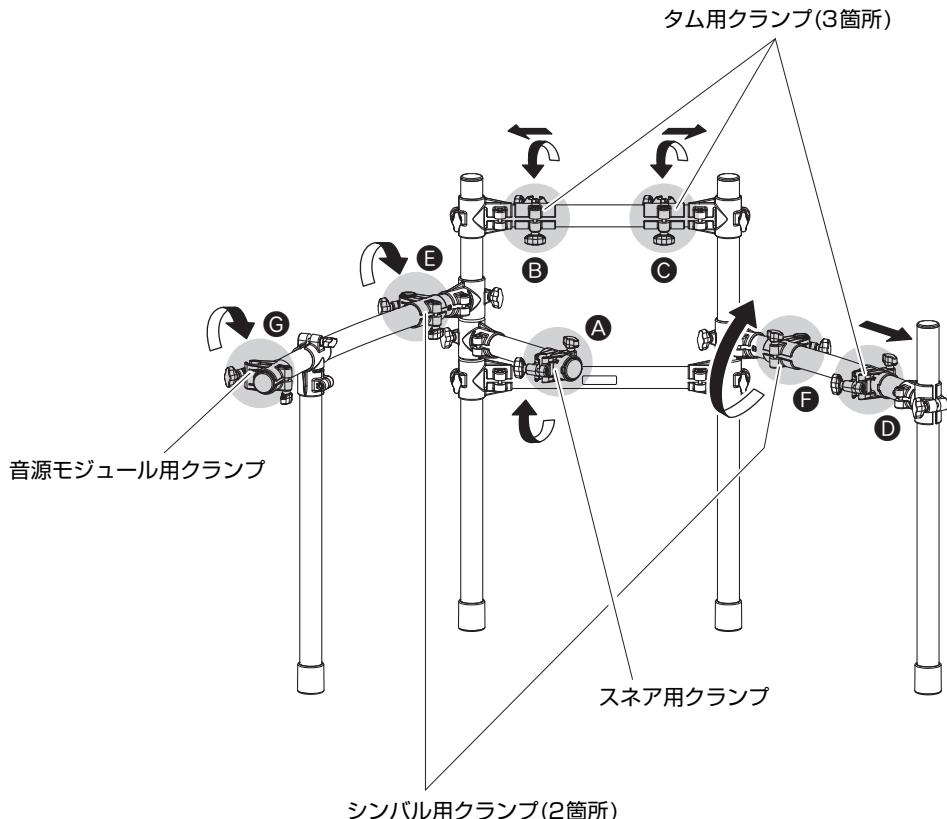


- 15.** すべてのボルトやネジがしっかりと締まっているか、再度確認してください。

## ホルダーの取り付け

1. 7箇所のクランプ(A～G)を、ボルトをゆるめて下図の位置になるように回転/移動します。ゆるめたボルトはしっかりと締めてクランプを固定します。

- ・スネア用クランプ:1箇所(A)
- ・タム用クランプ:3箇所(B、C、D)
- ・シンバル用クランプ:2箇所(E、F)
- ・音源モジュール用クランプ:1箇所(G)



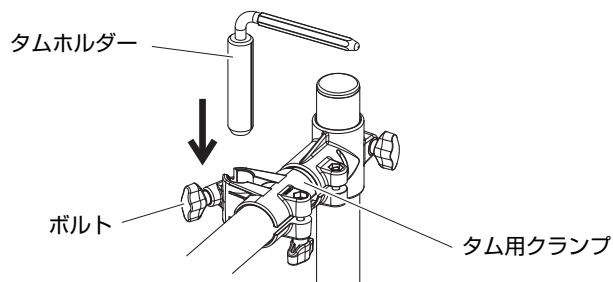
### NOTE

タム用クランプ(D)だけは回転せず、矢印の方向へ移動します。

**2. タム用クランプにタムホルダーを取り付けます(3箇所)。**

**△ 注意**

タムホルダーの先端部分はとがっています。けがの原因になりますので、取扱には十分注意してください。



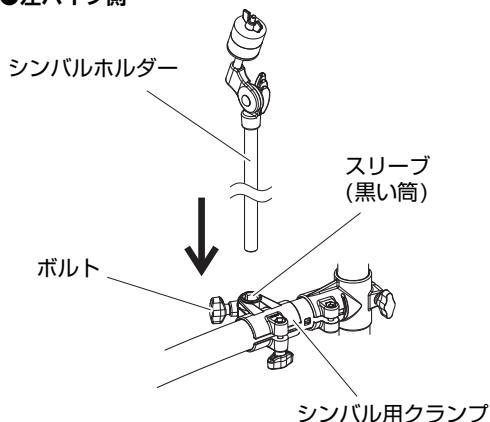
**2-1. タム用クランプのボルトをゆるめます。**

**2-2. タムホルダーを差し込みます。**

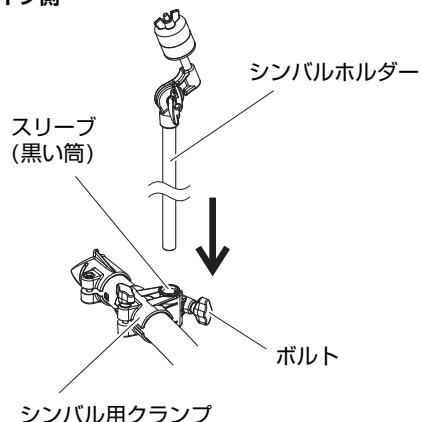
**2-3. タム用クランプのボルトをしっかりと締めます。**

**3. シンバル用クランプにシンバルホルダーを取り付けます(2箇所)。**

**●左パイプ側**



**●右パイプ側**



**3-1. シンバル用クランプのボルトをゆるめます。**

**3-2. シンバルホルダーを差し込みます。**

**3-3. シンバル用クランプのボルトをしっかりと締めます。**

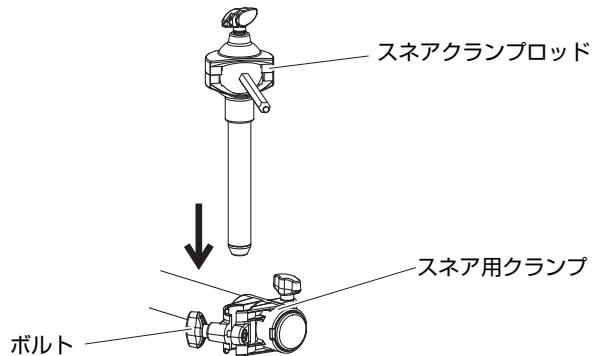
**NOTE**

ボルトを締めるときは、スリーブ(黒い筒)をクランプの取り付け穴に入れ、一緒に締めてください。

#### 4. スネア用クランプにスネアクランプロッドを取り付けます。

##### △ 注意

スネアクランプロッドの先端部分はとがっています。けがの原因になりますので、取扱には十分注意してください。



**4-1.** スネア用クランプのボルトをゆるめます。

**4-2.** スネアクランプロッドを差し込みます。

**4-3.** スネア用クランプのボルトをしっかりと締めます。

ヤマハ電子ドラムセットを組み立てる場合は、パッドセットに同梱されている組立説明書をお読みください。

#### 困ったときは

##### ● ラックを平らな場所に設置しても安定しない

クランプのスリット部と矢印が合っているか確認してください(「ラックの組み立て」の手順4(6ページ)、手順8(7ページ))。合っていない場合は、クランプボルトをゆるめ、水平パイプの矢印にスリット部が合うように調節したのち、クランプボルトを締めて固定します。

#### 仕様

● 外形寸法 : 1,196(W) × 528.3(D) × 812.3(H) mm (標準セッティング時)

● 質量 : 8.3 Kg

※製品の仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

## 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

### ● 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡しますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

### ● 保証期間

保証書をご覧ください。

### ● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

### ● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。

有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

### 【有寿命部品の例】

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

### ● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

### ● 持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理品お持ち込み窓口へ本機をご持参ください。

### ● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ◆修理に関するお問い合わせ

### ヤマハ修理ご相談センター

● ナビダイヤル  0570-012-808  
(全国共通番号) 市内通話料金でOK ナビダイヤル

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でお利用いただけます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830

- 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:00、土曜日 9:00～17:00（祝日およびセンター指定休日を除く）
- FAX：東日本（北海道/東北/関東/甲信越） 03-5762-2125  
西日本（沖縄/九州/中国/四国/近畿/東海/北陸） 06-6465-0367

## ◆修理品お持込み窓口

- 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:45（祝日および弊社休業日を除く）

\* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター	〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	FAX 03-5762-2125
名古屋サービスステーション	〒454-0832 名古屋市中川区清船町4丁目1-11 ピアノ運送株式会社 名古屋営業所1F	FAX 052-363-5903
西日本サービスセンター	〒554-0024 大阪市此花区島屋6丁目2-82 ユニバーサル・シティ和幸ビル9F	FAX 06-6465-0374
九州サービスステーション	〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4 ヤマハビル2F	FAX 092-472-2137

\*名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

## ■ユーザーサポートサービスのご案内

- 電子ドラムの機能や取り扱いについては、最寄りの特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

### お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口

● ナビダイヤル  0570-013-808  
(全国どこからでも市内通話料金でおかけいただけます)

上記番号でつながらない場合は TEL 053-411-4744

- 営業時間：月曜日～金曜日 10:00～18:00、土曜日 10:00～17:00（祝日およびセンター指定休日を除く）
- <http://jp.yamaha.com/support/>

## ◆ウェブサイトのご案内

ヤマハ電子ドラム製品ウェブサイト：<http://jp.yamaha.com/dtx/>

ヤマハダウンロード：<http://download.yamaha.com/jp/>

ヤマハマニュアルライブラリー：<http://www.yamaha.co.jp/manual/>

\*都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

**持込修理****保証書**

品 名	電子ドラムラック	
品 番	RS502	
※シリアル番号		
保 証 期 間	本 体	お買上げの日から6ヶ月間
※お買上げ日	年 月 日	
お 客 様	<input type="text"/> - <input type="text"/> ご住所 お名前 電 話 ( )	

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行なう事を約束するものです。

お買上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をあわせてご提示ください。

(詳細は下項をご覧ください)

## ヤマハ株式会社

### ヤマハ修理ご相談センター

● ナビダイヤル  0570-012-808

(全国共通番号)  ※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でお利用いただけます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830

● 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:00、土曜日 9:00～17:00 (祝日およびセンター指定休日を除く)

● FAX : 東日本 (北海道/東北/関東/甲信越) 03-5762-2125  
西日本 (沖縄/九州/中国/四国/近畿/東海/北陸) 06-6465-0367

※ 販 売 店	店 名	印
	所在地	
	電 話	( )

## 無償修理規定

- 保証期間中、正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合せください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
  - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
  - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

- この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

\* この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

\* ヤマハ株式会社の連絡窓口その他につきましては、本取扱説明書をご参照ください。



Yamaha web site  
<http://www.yamaha.com/>

Yamaha Downloads  
<http://download.yamaha.com/>

U.R.G., Digital Musical Instruments Division  
© 2013 Yamaha Corporation

211POZC\*.\*-01A0  
Printed in Indonesia

**ZE15370**